

第1282圖

まめ科



第1283圖

まめ科



第1284圖

まめ科



えにしだ 一名えにすぐだ

Cytisus scoparius Link.
(= *Spartium scoparium* L.)

歐洲原產ニシテ今ヨリ約二百六十四年前頃ノ延寶年間ニ我邦ニ渡來シ觀賞花品トシテ栽植セラル落葉灌木。通常高サ約1.5mナレド年ヲ經レバ3m達ス。枝ハ纖細ニシテ綠色ナリ。葉ハ有柄互生、一乃至三箇ノ小葉ヨリ成リ、形極メテ小ナリ。小葉ハ倒卵形或ハ倒披針形、有毛ナリ。初夏、葉腋ニ一乃至二ノ黃色花ヲ群着シテ開キ美ナリ。毎花短花梗アリ。萼ハ二裂シ、上片ハ上部ニ二鋸齒アリ、下片ハ三鋸齒ヲ有ス。旗瓣ハ橢圓形ニシテ凹頭。雄蕊十箇ニシテ二體ヲ成シ、就中其九箇ハ合體ス、殘存セル花柱ハ上方ニ回旋ス。花後兩緣ニ毛アル扁莢ヲ結ビ、熟シテ黑色ヲ呈シ、開裂セバ殼片操レリ。莢中ニ多種子アリ。一變種ニ花中ノ翼瓣ニ暗赤色ノ采アル者アリ之レヲほほべにえにしだ(頬紅えにしだ)ト云フ是レvar. *Andeanus* Dipp.ナリ。和名ハ今屬名トシテ他品ニ使用セラレアル *Genista*ノ語ニ基ヅク。

れだま

Spartium junceum L.

地中海沿岸地方竝ニかなり一諸島ノ原產ニシテ今ヨリ約二百八十年前頃ニ渡來シ、時ニ觀賞品トシテ庭園ニ栽植セラル。高サ3m餘ノ落葉灌木ニシテ枝ハ長ク伸ビテ上向シ、綠色ニシテ疎ニ葉ヲ着ケ、或ハ無葉ノ者多シ。葉ハ小ニシテ互生シ、倒披針形或ハ線形、全邊、長サ3cm内外アリ。托葉無シ。夏秋ノ候、枝梢ニ直立セル疎ナル總狀花序ヲ成シテ大ナル黃色蝶形花ヲ開キ佳香アリ。一方分裂セル萼ハ五齒アリ。大ナル旗瓣ヲ具ヘ、龍骨瓣ノ先端ハ甚ダ尖ル。蒴果ハ長ク、6cm餘アリテ細毛ヲ有シ、多種子ヲ容ル。歐洲ニテ往時ハ菜トシテ用キラレ又嫩枝條ヲ以テ編物トスル地方アリ。和名れだまヲ連玉ノ意トスルハ非ナリ、即チ是レ葡萄牙井ニ西班牙語ノ *Retama*ニ基キシ者ナリ。漢名鷹爪井ニ鷹織柳(共ニ誤用)

きばのはのうちはまめ 一名のぼりふぢ

Lupinus luteus L.

南歐洲原產ノ一年生草本ニシテ大正年間頃ニ渡來シ往々庭園ニ培養セラル。莖ハ高サ60cm許、殆ド單ニシテ直立ス。葉ハ互生シテ下部ヨリ多ク生ジ、掌狀複葉ニシテ長柄ヲ有シ、小葉ハ十片許アリテ線狀披針形・長橢圓形若クハ倒披針形ヲ呈シ、先端ハ短尖シ、莖ト共ニ白色ノ毛茸ヲ密生ス。初夏、莖頂ニ葉ヲ抽テ直立セル總狀花序ヲ成シ、層ヲ成シテ多數ノ黃色蝶形花ヲ輪狀ニ綴ル。毎花ハ殆ド花軸ニ接觸シ、芳香アリ。萼ノ上部ハ二葉ト成リ下部ハ三齒ト成ル。旗瓣ハ卵形、翼瓣龍骨瓣ハ狹長ナリ。莢ハ廣線形ヲ成シ扁平ニシテ細毛アリ。種子ハ大ニシテ光灰色ヲ呈シ褐色ノ斑紋アリ。和名ハ黃花羽團扇豆ノ意ニシテ羽團扇ヘ其葉狀ニ象ドル、昇り藤ハ花戸ノ稱ニシテ花穗直上スルヲ以テ名ク。

たぬきまめ(野百合)

Crotalaria sessiliflora L.

原野ニ生ズル一年生草本。莖ハ高サ20-60cm、通常單立、稀ニ上部ニ於テ數枝ヲ分ツ。葉ハ互生シ、線形乃至披針形ヲ成シ、表面深綠色ニシテ無毛、裏面ハ莖ト共ニ密ナル光褐色ノ纖細毛アリ。托葉アリ。夏秋ノ候、莖頭ニ禿ヲ成シテ多クノ鮮紫色蝶形花ヲ密生ス。萼ハ大形ニシテ二深裂シ、更ニ上部ノ者ハ二裂、下方ノ者ハ三裂シ、光褐色ノ毛茸ニテ覆ハル。旗瓣ハ殆ド圓形ヲ成シ先端凹頭ヲ呈ス、翼瓣ハ橢圓形、龍骨瓣ハ旗瓣ト約同長。雄蕊十箇ニシテ二體ヲ成シ、其九箇ハ下部合著シ筒ヲ成ス。花柱ハ甚ダシク屈曲ス。莢ハ膨脹シ長橢圓形ヲ成シ莢面平滑ニシテ多種子ヲ容ル。和名狸豆ハ蓋シ莢ヲ覆フ所ノ褐毛多キ宿存萼ニ由ルノ名ナルベシト雖ドモ然シ其花ヲ正面ヨリ望メバ宛トシテ獸面ヲ睹ルガ如キヲ以テ或ハ之レニ基キシ名ナリトモ亦考ヘ得ベシ。

せんたいはぎ

Thermopsis fabacea DC.

北地ノ海邊ニ生ズル多年生草本。莖ハ高サ90cmニ至リ單立或ハ上部ノミ枝ヲ分チ多少鈍稜アル圓柱形ヲ成シ淡綠色ナリ。葉ハ互生シテ有柄、三小葉ヲ以テ成ル。小葉ハ倒卵形或ハ稍菱形ニシテ葉先ハ微凹アル頭ヲ成シ、葉底ハ貌形ヲ呈シ、葉緣ハ全邊ナリ、上面無毛ニシテ鮮綠色、下面ハ白綠色ニシテ軟毛ヲ有ス。托葉二片アリ、大ニシテ葉狀ヲ呈シ、卵形或ハ卵狀長橢圓形ヲ成シテ往々葉柄ト同長或ハ之レヨリ長シ。春日、莖頂ニ直上アル總狀花序ヲ成シテ深黃色ノ美ナル蝶形花ヲ互生ス。小花梗ハ極テ短ク、卵狀長橢圓形ノ苞アリ。萼ハ短キ鐘形ヲ成シ、上部ニ殆ド融合セルニ裂片、下部ニ三裂片アリ。旗瓣ハ他ノ瓣片ヨリ短ク、翼瓣ハ橢圓形ニシテ龍骨瓣ヲ包ム。雄蕊十二シテ離生、略ボ同長、莢ハ扁平ナル線形ニシテ長サ8cm、軟毛アリ。内ニ茶褐色ノ扁子ヲ含ム。和名ハ千代萩ノ意、此種北地ノ產、陸前ノ仙臺モ亦北地、而シテ既ニ仙臺ニ關係アル千代萩ノ成語アレバ直ニ之レヲ採テ其名トセシナラン、換言スレバ畢竟北地萩ノ意ナリ。

第1285圖

まめ科



第1286圖

まめ科



いぬゑんじゅ

一名ゑんじゅ・おほゑんじゅ ?古名ゑにす
Maackia amurensis Rupr.
var. *Buergeri* Schneid.

山地ニ生ジ又時ニ庭園ニ栽培セラル落葉喬木。高サ9-14m許、幹徑60cmニ達ス。葉ハ有柄互生シ奇數羽状複葉ニシテ葉軸及び小葉ノ裏面ニ細毛ヲ密生シ殊ニ嫩葉ニ於テ著シ。小葉ハ凡ソ三-五對、長サ約6cmナレドモ甚ダ不定ナリ、長橢圓形或ハ卵形、先端ハ稍尖リ底部ハ鈍形或ハ圓形。夏日小枝頂ニ枝ヲ岐チテ總狀花序ヲ成シ黃白色ノ小蝶形花ヲ密着シ開ク。毎花長サ10mm許。萼ハ鐘狀ト成リ其上部ノ二片ハ全然融合ルヲ以テ四淺裂ヲ呈ス。旗瓣ハ闊ク、翼瓣龍骨瓣ハ狹シ。雄蕊十箇、下部融合ス。莢ハ扁平ニシテ披針形或ハ長橢圓形・卵形等ヲ呈シ、表面網眼アリ、辛フジテ開裂ス。種子ハ扁平ニシテ褐色。和名犬ゑんじゅ・ゑんじゅ・即チ槐ニ似テ鹿草ナルヲ以テ斯ク云フ、山人ハ單ニ之レヲゑんじゅト稱スルヲ以テ往々槐ノゑんじゅハ混ズルコトアリ。按ズルニ單ニゑんじゅト稱スルヲ蓋シ本樹ヲ指スナラント考フ、ゑんじゅノ古名ヲゑにすト謂フ是レ亦本邦原產ノ本品ナリトスルヲ穩當ト感ズル。漢名槐(誤用)

第1287圖

まめ科

